

平成24年第12回中津川市教育委員会定例会議事録（要旨）

日 時 平成24年10月29日（月） 午後1時30分

場 所 にぎわいプラザ 4-1会議室

出席委員 田島 雅子 小幡 隆徳 横井 晃

松田 幸博 大井 文高

事務職員 山内事務局長
岩久教育次長兼学校教育課長
市岡文化スポーツ部次長兼図書館対策監
内木子育て支援対策監兼幼児教育課長
鈴木発達支援センターつくしんぼ所長
牧野国体推進室長兼スポーツ課長
末木文化振興課長
原文化スポーツ部長
今井教育企画課長
和田教育研修所長
幸脇阿木高等学校事務長
田島発達相談室長
田口生涯学習課長
小栗図書館対策室長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教 育 長 報 告
4 議 事
5 閉 会

番 号	議 題	結 果
議第26号	平成24年度中津川市教育委員会の事務事業点検評価報告書について	承認

〔開 会〕

〔議 事〕

【田島委員長】議事に入ります。日程第1議第27号「平成24年度中津川市教育委員会の事務事業点検評価報告書について」、説明をお願いします。

【事務局】〔資料に基づき説明〕

【田島委員長】この件につきましてはお時間が少ない中で、委員の方々にもしっかりと意見をいただきありがとうございます。意見の欄が割と小さかったので、委員の方々も随分意識されたのではないかと私は心配しておりました。ご意見ご質問はありませんか。

では、私から質問します。点検評価の実施方法について、評価対象事業というところで主要なものを抽出して重点的に評価を実施するというようにいただいています。主要事業というのはもっとたくさんあると思いますが、これは評価委員会が対象を選べるのでしょうか。それとも「これについて」という形で、限定で評価していただくものなのでしょうか。

【今井教育企画課長】事業の抽出につきましては、昨年の事業の中で今回は10事業を選んでいただきました。これは評価委員会の前年度の委員長に選んでいただいて受け渡ししたものです。来年度につきましては、この事業の他に10事業選んでいただきます。2年間で大きな事業を20件評価していただきます。2年1期の委員さんですので、その1期の間に全体で主要事業20事業ということになっております。

【田島委員長】主要事業を提示して委員長に選んでいただくという形ですね。それで今年が1年目のわけですね。他にご意見ご質問はございませんか。

【横井委員】3ページの移動教育委員会の教育委員会の評価で、事前にいただいて見ていたのですが、そのときも気になって今もまたすごく気になっています。教育委員会の意見で「役員が変わるために緊張がほぐれるまでに時間がかかる」というのは、あまり意見としてはどうかという気がするのですが。実態は実態ですけども。評価のための意見としてはカットしてもいいのかなと思いますがいかがでしょうか。「役員が変わるため、事務局が相手の…」と続けたらどうでしょうか。

【田島委員長】非常に分かりやすいと思います。それでは「役員が変わるため事務局が相手の立場に立つ配慮を」という形にさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

他にはいかがでしょうか。

もう一つ質問ですが、この評価は、市民が見ることはできるものなのでしょうか。

【今井教育企画課長】これは議会へ報告するとともに、ホームページにアップさせていただいています。

【田島委員長】分かりました。

【今井教育企画課長】次のページの学校規模等適正化推進事業で、目的の次の内容のところ4ページです。最下段の平成24年2月、学校規模等適正化基本計画完成で「(市長認知)」とありますが、この括弧の文言を消したい、「(市長認知)」を消すというお願いですが。

【田島委員長】これは皆さんが承知してくれましたので、その部分は消していただいて結構か

と思います。

8ページの教育委員会の意見で、言葉足らずなところがあります。皆さんが理解していただいているのでしょうか。「計画通り進んでいます。施設だけでなく周囲の状態の点検も重要で」という言い方ですが、かなり分かりにくいと思いますが、いかがでしょうか。

どういふつもりで書いたかという、ある保育園の保護者の方が施設だけではなく、その周りの土盛りをしてあるところや裏山が、地震が起きたときに非常に滑ってきやすくて危険だからとおっしゃったことがありました。私も実際どんぐりさんに行ったとき、ものすごい雨が降った中で本当に近いところの山が崩れたものですから。そういうところの状況の話ですけど。もう少し言葉を足した方がいいでしょうか。

【横井委員】施設だけでなく危険箇所が周りにもあるということなので、伝わりにくかったら入れたらどうですか。

【田島委員長】入れていただいた方が親切かもしれません。では「周囲の危険箇所を」という形で入れてください。他に気になっている部分はありますか。

【小幡委員】5ページのところですが、ホームページにアップするなら言葉をそろえた方がいいという気がします。

【田島委員長】そうしますと、5ページは「親の仕事等環境に応じた多様な対応が必要です」とします。

【松田委員】ホームページなどに載せて告知されるということですが、例えば6ページの特別支援指導助手配置事業というのがあって「人的にもうちょっと手厚く」と書いてあるのですが、予算が許せば人員は確保できるのかということも心配です。そこで最終的な教育委員会の評価として拡大して継続というのが出ると若干誤解もあるのかなど。評価の部分の言葉の書き方や種類が非常に難しいと思います。質問ではないのですが、何となくそんなことが心配です。

【田島委員長】まず人員が確保できるのだろうか。

【岩久教育次長】いただいた外部の評価を基にして、市の財政担当課と十分に協議させていただくということしかできませんので、そこを頑張らせていただこうと思っています。今見ている6ページの最下段を見ると文末の表現にも関わりますが「予算等の対応が望まれる」という表現をさせていただいて、学校教育課が主体的に書いている言葉ではありません。是非そうしてほしいという表現をしているところからもお分かりいただけだと思いますが、外部からいただいた評価を最大限に生かして子どもたちのために予算を獲得できるように頑張らせていただく、その一つの資料にしたいと考えております。私の立場ではここまでしかお答えできませんので、よろしくお願いします。

【田島委員長】ご意見ということでいただきました。

【内木幼児教育課長】一つ訂正をお願いします。8ページ、保育園の内容のところでも26年度までに23園／23園となっていますが、これは公立保育園耐震改修という事業なので公立保育園17園ということです。分母の方は23園を17園ということをお願いして、26年度の耐震改修率は100%になるわけですが、17園／17園であと一色と坂本2園なの

で。蛭川が終わって15、一色を開園して16、坂本を26年に耐震して17/17です。

また、23年度の蛭川保育園の耐震改修ですが、耐震補強工事と改修工事をやっていますので、ここに「補強」という文言を入れて、蛭川については耐震補強・改修となります。それで88.2%です。対象が15園/17園をお願いします。24年度は一色保育園の実施設計ですが、ここは88.2%と変わりません。最後の欄の15/17も変わりません。それから25年度は一色保育園の耐震補強と坂本保育園の実施設計ですので94.1%、右欄は16園/17園になります。26年度は坂本保育園の耐震補強工事の実施率は100%、17園/17園ということで修正をお願いします。

【田島委員長】 それでは評価委員会にもお伝え願います。他にご意見ご質問はありませんか。

ご意見が出尽くしたようですので、議第27号「平成24年度中津川市教育委員会の事務事業点検評価報告書について」は、承認とさせていただきます。

これをもちまして、平成24年度第12回中津川市教育委員会を閉会させていただきます。

〔閉 会〕